



熱線センサユニット (DC12V用)

取扱説明書

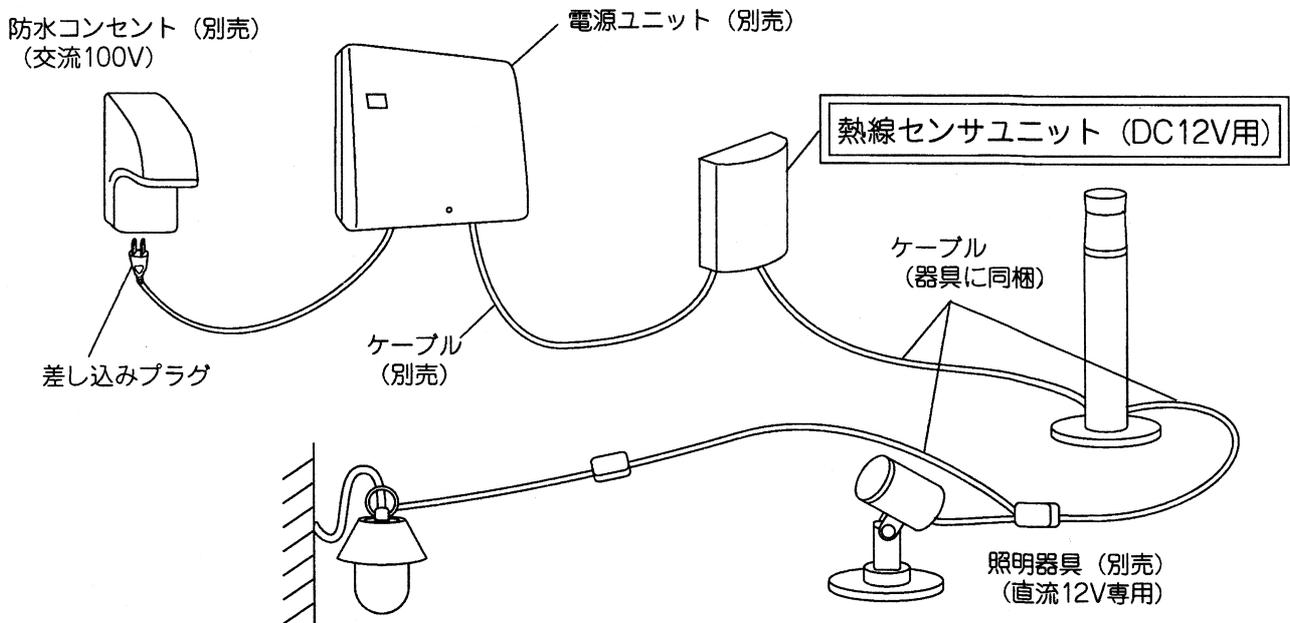
保管用

取説No.LHLYH88-T3A

品番 LYH88

お買いあげありがとうございます。
 ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
 そのあと必ず保管してください。

- この熱線センサユニットは直流12Vで作動し、直流12V専用照明器具の点灯/消灯を熱線センサ機能、明るさセンサ機能で自動的に行います。



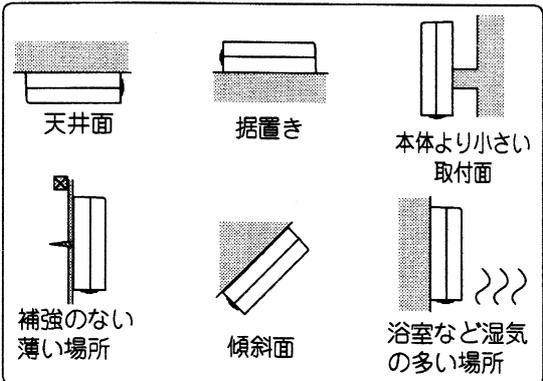
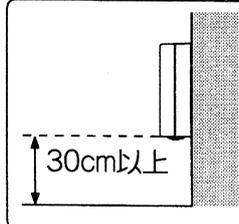
直流12V仕様・・・特別な資格が不要で、安全に取付けができます。

もくじ

● 安全に関するご注意	1	● 設定のしかた	5
● 取付け上のご注意	2	検知範囲について	
● 使用上のご注意	2	調整ツマミについて	
● 付属品	3	● 修理を依頼される前に	6,7
● 別売部品	3	● お手入れについて	7
● 取付けかた	4	● 仕様	7

安全に関するご注意

警告

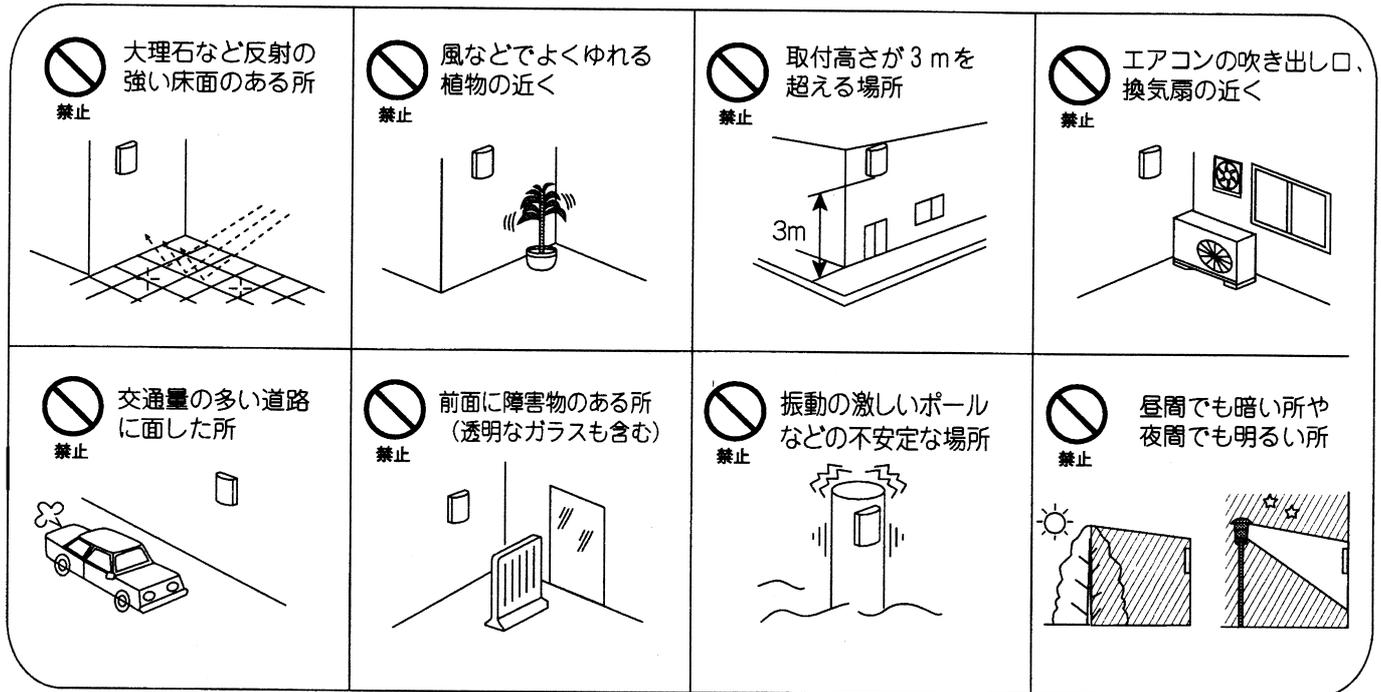
<p>■直流12V以外では使用しないでください。 過電圧を加えると、火災・感電の原因となります。</p> <p>■この器具は別売の電源ユニット (LYH71、LYH72、LPT85、LPT86) と組合わせて使用してください。 他の電源ユニットを使用しますと、火災・感電の原因となります。</p> <p>■器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。 火災・感電の原因となります。</p> <p>■布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしないでください。 火災の原因となります。</p> <p>■ケーブルを足を引っ掛けそうな場所に配線したり、地中に埋めないでください けがや故障の原因となります。</p> <p>■ケーブルを無理に曲げたり、引張ったりしないでください。 ケーブルが損傷し、火災の原因となります。</p> <p>■ケーブルに重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ケーブルが損傷し、火災の原因となります。</p> <p>■接続する照明器具は、接続容量内で使用してください。接続は確実に行ってください。 接続容量をこえて使用したり、接続が不十分であると火災の原因となります。</p>	<p>■こんな場所には取付けないでください。 この器具は防雨型、壁面取付専用です。火災・感電・落下の原因となります。</p>  <p>■地面より30cm以上離して取付けてください。 冠水の時、火災の原因となります。</p>  <p>■不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。 火災・感電・落下の原因となります。</p> <p>■器具表示の指定方向以外では取付けないでください。 指定外の取付けは、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</p>
<p>■器具を改造したり、部品交換をしないでください。 火災・感電の原因となります。</p>	<p>■カバーは必ず閉めた状態でお使いください。 回路部品に雨水などが入ると火災・感電の原因となります。</p> <p>■異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。 異常状態がおさまったことを確認し、施工店または、最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。</p>

注意

<p>■温度の高くなるものの近くでは使用しないでください ガス機器やその排気筒の上に取り付けないでください。火災の原因となります。</p>	<p>■この熱線センサユニットに接続する照明器具は直流12V用器具以外は使用しないでください。 他の器具を接続しますと、火災・感電の原因となります。</p>
--	---

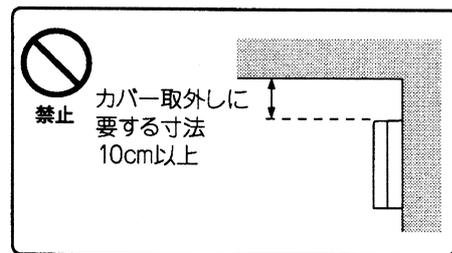
取付け上のご注意

- センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、「設定のしかた」の項目をよくご覧のうえ、設定してください
- 次のような場所には取付けないでください。
このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。



- 天井から10cm以上はなして取付けてください。
スペースがないとカバーの取付けができません。

- 防水性確保のため、下記の項目をお守りください。
 - ・ 取付け面は凹凸のないように仕上げてください。
 - ・ 施工後は必ずカバーを閉めてください。



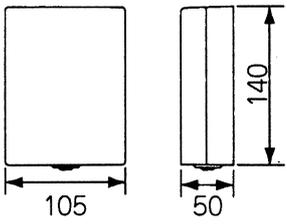
- 施工時に熱線センサユニットに付着したモルタルやコンクリート、薬剤などは速やかに清掃してください。
- 接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、熱線センサユニットと接触しないようにしていただくか、接触する部品を完全に養生してください。

使用上のご注意

- 接続する器具は必ず容量以下（最大36Wまで）でご使用ください。
注）電源ユニットと組み合わせて使用する場合は、電源ユニットの容量にご注意ください。
(LYH71, LPT85 : 35W) (LYH72, LPT86 : 各回路30W)
- 自動-連続切替ボタンが「自動」の場合、電源投入時に検知範囲に人がいなくても出力しますが、しばらくすると出力が止まり、その後正常に動作します。

付属品

部品名	入数
熱線センサユニット	1



部品名	入数
木ネジ (φ3.8×38)	2
取扱説明書	1
保証書	1

別売部品

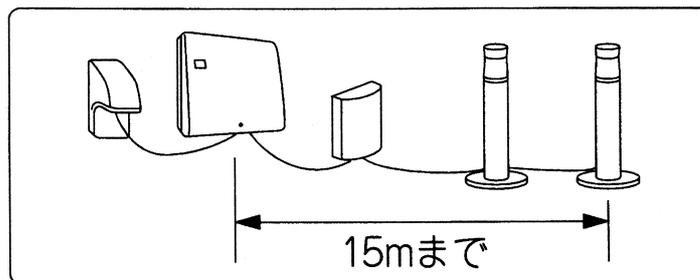
- 別売の電源ユニットおよび照明器具に接続するため、専用のケーブルが必要となります。配線距離に応じてご準備ください。

	容量	商品コード
電源ユニット	35W	LYH71,LPT85
	60W	LYH72,LPT86

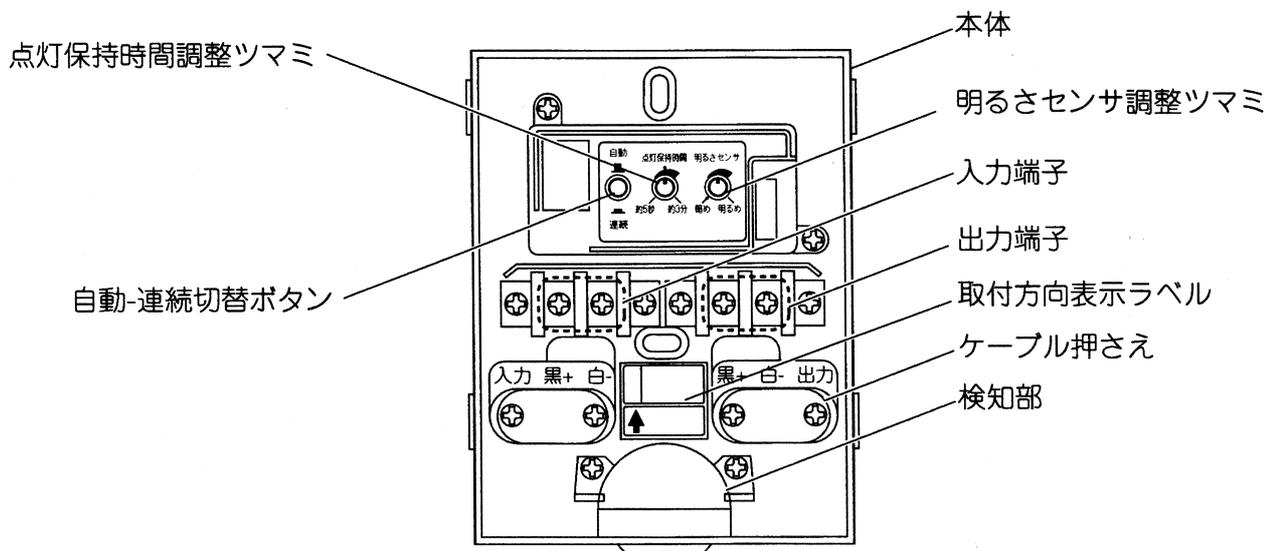
注) 電源ユニットは「連続ON」でご使用ください。

	長さ	商品コード
エクステリアライト用電源ケーブル (別売)	5m	LYH81
	10m	LYH82

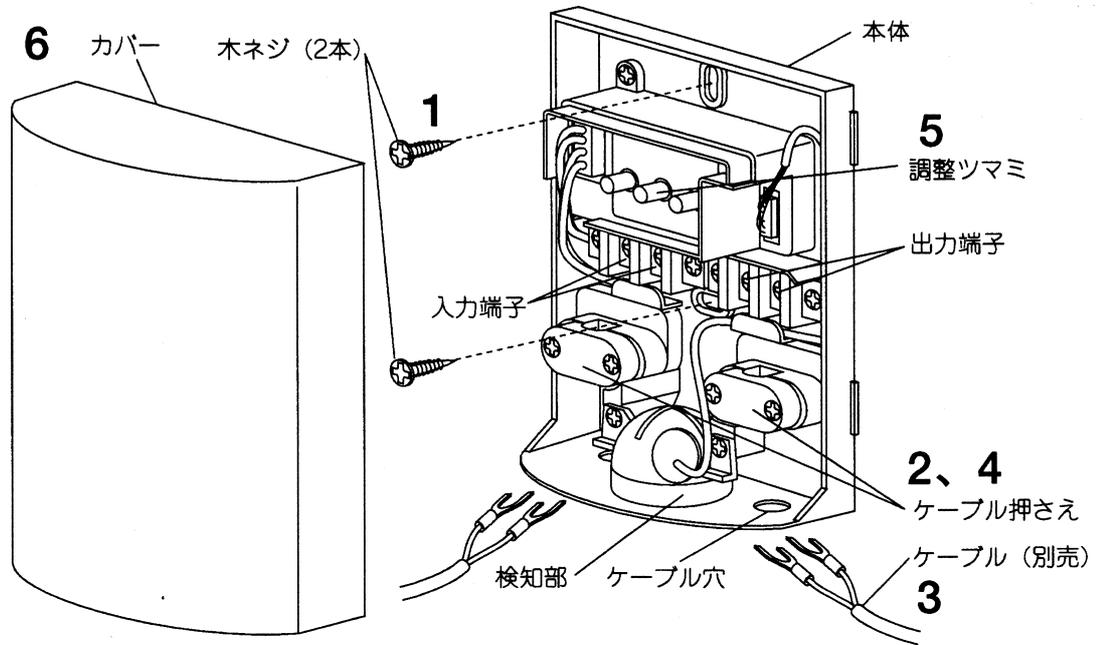
- 注) ・照明器具には2.5mのケーブルが同梱されています。
 ・電源ユニットにはケーブルは同梱されていません。
 ・電源ユニットから末端器具までの距離はケーブル1本あたり最大15mまでとしてください



各部のなまえ



取付けかた



1. 壁面の補強材のある場所に付属の木ネジ2本で本体を取付ける

- 地面より30cm以上離して取付けてください。
 - 取付方向表示ラベルにしたがって壁面の補強材のある場所に本体を取付ける。
- 取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
取付ピッチ 66.7mm

2. 入力端子・出力端子及びケーブル押さえのネジをゆるめる

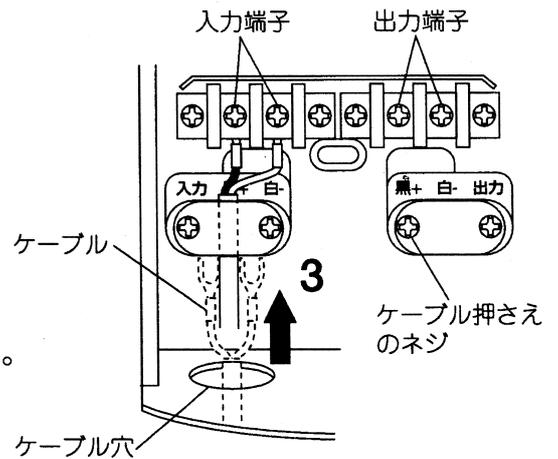
3. ケーブル(別売)をケーブル穴とケーブル押さえに通し、入力端子及び出力端子に接続する

接続が不完全な場合、火災の原因となります。

- 極性(+黒・-白)を合わせてください。間違えて結線すると器具が動作しない場合があります。
- Y字端子(別売ケーブル)を奥まで確実に差し込んでください。

接続不良による火災の原因となります。

- 入力端子・出力端子のネジを確実に締め付けてください。
- 接続する照明器具は必ず36Wまででご使用ください。容量をこえて使用すると、火災の原因となります。



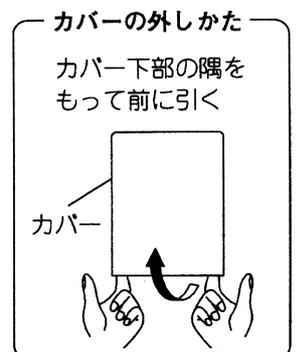
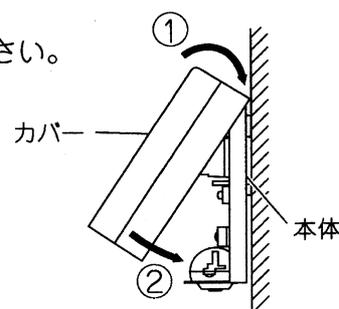
4. ケーブル押さえのネジを締め付け、ケーブルを押さえる

5. 検知部の調整と調整ツマミを設定する

「設定のしかた」(P.5)を参照して設定してください。

6. 本体にカバーを取付ける

- ① 天面を引掛けて
- ② 壁側へ押し付ける



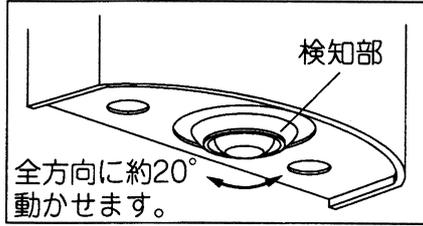
設定のしかた ● 検知範囲の設定は昼間に行うこともできます。

検知範囲について

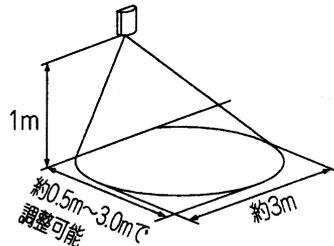
- 検知部は真下にした状態から全方向に約20°可動します。
- センサはおおよそ下図の範囲で検知します。
- 検知部を動かしてお好みの検知範囲を設定してください。

故障ではありません

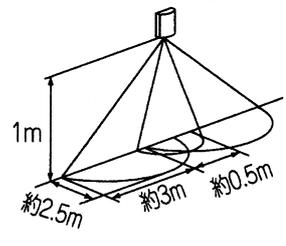
- 注) 本センサは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源(動物・車など)が移動したときも検知する場合があります。
- 注) 検知範囲は目安です。下記の様な場合検知範囲が変化します。
- ・ 検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進行方向、人の温度、器具の取付高さなどにより変化します。
 - ・ 夏場など気温が体温に近い温度になると、温度変化分が小さくなり、検知範囲は小さくなります。
 - ・ 器具に向かってまっすぐに接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。



検知範囲図
器具取付高さ1mのとき

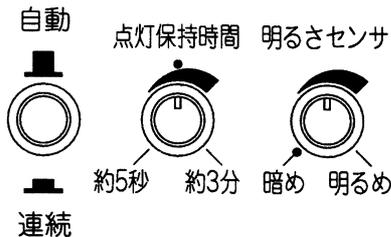


前後に可動させた場合



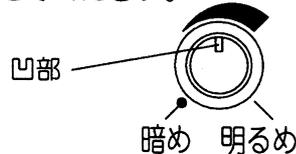
左右に可動させた場合

調整ツマミについて



明るさセンサ調整ツマミ

センサ動作が始まる周りの明るさを設定できます。「明るめ」側(右方向)に回すと、明るい昼間から動作ようになります。ツマミ凹部をお好みの位置に合わせてください。



自動-連続切替ボタン

「連続」にすると周りの明るさや人の有無に関係なく連続で出力することができます

自動 明るさセンサ・熱線センサで自動で出力の入切を行います。

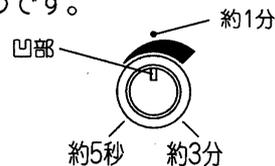
↑ ↓ ボタンを押すことにより切替

連続 連続出力(検知部が赤く点灯します。) ↓ 押す

点灯保持時間調整ツマミ

人が検知範囲からいなくなる又は、静止してからの点灯時間を設定することができます。

ツマミの凹部をお好みの位置に合わせてください。「真上」約1分での使用がおすすめです。



修理を依頼される前に

現象	考えられる原因	処置
検知範囲に人がいるのに出力しない	電源（直流12V）がはいていない	電源ユニットの出力をONにしてください
	極性（+黒、-白）を間違えて接続している	入力端子、出力端子の(+黒、-白)を合わせて接続してください
	負荷の合計消費電力が容量（36W）を超えている	接続する負荷数を減らし最大負荷容量(36W)以内にして下さい
	ケーブルが外れている ケーブルが不完全に接続されている	ケーブルが確実に接続されているか確認する
	明るさセンサ調整ツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	明るさセンサ調整ツマミを「明るめ」側（右方向）に少しまわす（P.5参照）
	人が静止している	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する（検知部を動かす）（P.5参照）
	検知部が汚れていたり蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようにふきとる
	器具に向かってまっすぐ接近している	検知部を少し傾けて使用する。（器具に向かってまっすぐに接近した場合はより近づかないと検知しない場合があります。）
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります（正常動作）
	雨の日に傘で顔や手が隠れている	
	暑い日などで周囲温度と人体の温度差が少ない	
検知範囲に人がいないのに出力している	検知範囲内に人以外の熱源がある (例) 白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風などでよく揺れるもの（植木、旗など） 車の熱やヘッドライト 犬や猫などの動物 強い風、雨、雷	本センサは温度変化を検知するため左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります（正常動作）
	連続になっている (検知部が赤く点灯している)	自動・連続切替ボタンを押す（P.5参照）

現象	考えられる原因	処置
人がいなくなってもなかなか出力がとまらない。	点灯保持時間が長く設定されている	点灯保持時間ツマミを左に回し時間設定を変更する
	連続になっている (検知部が赤く点灯している)	自動・連続切替ボタンを押す (P.5参照)

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店にご相談ください。

お手入れについて

⚠注意 ●必ず差し込みプラグを抜いてから行ってください。感電の原因となります。

- 安全にご使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）にお掃除、点検ください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。丸洗いはしないでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変質、変色、破損の原因となります。
- 器具全体を水洗いしないでください。火災・感電の原因となります。
- 検知部が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的（6カ月に1回程度）に柔らかい布で清掃してください。



仕様

大きさ	幅105×高さ140×出しろ50 (mm)
重量	0.25kg
入力電源電圧	DC12V (電源ユニットLYH71.LYH72.LPT85.LPT86専用)
出力電圧	DC12V
負荷接続容量	最大36Wまで
消費電力	36.6W (負荷36W接続時)、待機時電力 0.1W以下
機能	点灯保持時間調整 (約5秒～約3分) 明るさセンサ調整 自動-連続切替